

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

584

エイズ予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
	中事業		エイズ予防事業	

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	谷井 朋子 488-5104
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	エイズの正しい知識の普及及びHIV感染症を早期発見・早期治療することにより、感染の予防及びまん延の防止を図る。		HIV抗体検査及び相談を実施し、早期発見、早期治療につなげることで、感染の予防及びまん延防止を図る。また、エイズやHIV感染症について、正しい知識の普及を通じて、自分事として捉え、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげる。			
事業内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・広報誌や公式ツイッターでのエイズミニ講座等による知識の普及啓発	・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座 ・広報誌や公式ツイッターでのエイズミニ講座等による知識の普及啓発 ・保護者等を対象とした研修会	・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座 ・広報誌等による知識の普及啓発 ・路線バス内に啓発ポスター掲示 ・講演会の開催	・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等による知識の普及啓発 ・講演会の開催 ・世界エイズデーイベントの開催	・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等による知識の普及啓発 ・講演会の開催 ・世界エイズデーイベントの開催

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,492	1,853	1,964	1,520	1,965	1,660	1,914	0	1,914	0
伸び率(%)	0.1%	△23.7%	△21.2%	△18%	0.1%	9.2%	△2.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,705	9,157	7,525	7,757	5,834	7,779	7,031	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	182	114	137	0	0
	小計	11,705	9,157	7,525	7,757	6,016	7,893	7,168	0	0
国庫支出金	1,117	857	979	979	980	979	954	0	954	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,375	996	985	541	985	681	960	0	960	0
所要人数(人)	正規職員	1.47	1.15	0.97	1.00	0.78	1.04	0.94	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.05	0.06	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金1,192千円、手数料 252千円 等									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	検査・相談の啓発の種類	種類	目標値					
			実績値	11	11	11		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標	受検者数(HIV抗体検査)	件	目標値	300	300	300	300	300
			実績値	102	85	159		
			達成度(%)	34.0%	28.3%	53.0%	%	%
成果指標	相談数	件	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	13	44	45		
			達成度(%)	13.0%	44.0%	45.0%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>高校での出前講座を実施し、若い世代への正しい知識の普及啓発の必要性を改めて感じた。</p> <p>世界エイズデーに際し、路線バス内に、ポスターを掲示し、エイズについて、関心をもち理解を深める機会となるよう普及啓発を実施した。</p> <p>また、リモートによるLGBTQに関する講演会を開催し、性の多様性に対する、正しい知識の普及とともに、理解を深める機会とした。</p>
見直し・改善内容	<p>コロナ禍により実施できていなかった、イベント等を開催し、若年層に対する普及啓発の充実を図る。</p> <p>様々な媒体を利用し、正しい知識の普及とエイズに対する理解を深める機会を提供する。</p> <p>感染予防のため、検査の実施についての啓発を強化する。</p>